



記念ソング最優秀曲「生きてゆくために」(指揮:作曲の石川伸二)

「毎年の祭典、全口程でなくともこの間ずっと関わってきたけれど、今回は自作のオペラ公演と重なつて、無理かと思いました。が、大音楽会当

「毎年の祭典、全口程 きょう、感じたのは、今の世界情勢に鑑みて、テーマがしぼられ、みんなが同じ方向を向いてい

るという感覚がとても

つくり出た。その色合い

は最近の祭典のなかで一

ポリシーを明確にした祭典

池辺晋一郎 (鎮魂組曲、『新世界』指揮)

感動した曲もたくさんありました。特に楽しかつたりホロッときたりで印象に残つたのは、桂雀三郎 with まんぶくブルザーズの居酒屋を歌つた『二人のやぐら』と震災の後に再開した焼き肉店を応援した『カルネの

うたごえ』はもつと社会運動とリンクしてほしいと思い、大音楽会

果としてポリシーを銳角にしてモチベーションが

はつきりした、そうでき

るのはとても大事なこ

と。この力を未来につな

げていくように、ぜひがんばつていただきたい。

(鎮魂組曲、竹下景子

さんの朗読も交えての演

出は)「とても新鮮で良

にしています」。

2025祭典in
神戸・ひょうご
特集2



「和太鼓と民舞の万響
祭から3日間、毎日3〜

うたごえ運動の精神確認

石川康宏祭典実行委員長

4時間の音楽会に身が持つかと思つていましたが実際にはすぐに不

安は解消され、乗せられて、僕としては10年分の音楽に触れた感じです。

平和な世界で生きてゆくために

一周年でした。

3日間観て聴いて

なるほどなあと思つたのは、幼い子からおじいちゃんおばあちゃんまで年代・性別を超えてみんなで

つくられているとい

うこと、じつとしていられなくて地べたに座り込んだ小さな

子をおかあさんがだつこし、それをみん

ながあたたかく見守つて

いる光景はなかなかのも

のだなと思いました。

特に3日目の大音楽会では、戦争のない世界、人の尊厳が守られる社会をどう作っていくかとい

う問題意識が曲によく現

われていて、うたごえ運

動の精神を確認できた気

がして嬉しかったです」。



▲うたごえは、年代・性別を超えて

かつた。阪田みゆきさん

のピアノも良かつた。

(来年の祭典にひきつ

ぐ『新世界』に)「山ノ

木竹志君の詞が未来志向

で、今回も最後にこれを

持つてきて、これもテー

マが貫徹したと思いま

す。来年の演奏も楽しみ

にしています」。